

しあわせさん

SUN

社協だより

2011
(平成23年12月)

No.23

主な内容

- 平成23年度全国社会福祉大会 2 ページ
- 平成23年度久慈市社会福祉大会 3 ページ
- 平成23年度福祉作文コンクール入選作紹介 4～6 ページ
- 生活福祉資金のご案内 7 ページ
- 生活復興支援のお知らせ 8 ページ
- お知らせ・ご案内 9 ページ
- 歳末たすけあい運動にご協力をお願いいたします！ … 10 ページ

きれいな地球を 子どもたちに



門前老人クラブでは、町内の草取りを実施しました。



夏井延寿会では、町内の花壇清掃を実施しました。

小久慈幸新会では、幸橋の草取り清掃を実施しました。

全国老人クラブ連合会では、9月20日を「社会奉仕の日」と定め、「きれいな地球を子どもたちに」をスローガンに、老人クラブによる社会奉仕活動を展開しています。

毎年、久慈市老人クラブ連合会でも社会奉仕活動に取り組んでいますが、今年度は、地域の清掃美化などに22ヶ所の老人クラブ479名が取り組みました。

平成23年度

全国社会福祉大会

11月18日に東京都で開催された「平成23年度全国社会福祉大会」において、多年にわたり社会福祉の増進に貢献された次の方々が表彰されました。
(敬称略)

- ◇厚生労働大臣表彰
古山 宗司
- ◇共同募金運動奉仕者
山館 陽一
- ◇全国社会福祉協議会長表彰
木戸口敏男
- ◇民生委員・児童委員功労
こぶしの会
- ◇社協・民間福祉団体功労
- ◇中央共同募金会会長表彰
- ◇共同募金活動優良団体

第64回

岩手県社会福祉大会

11月8日に盛岡市で開催された「第64回岩手県社会福祉大会」において、多年にわたり社会福祉の増進に貢献された次の方々を表彰しました。(敬称略)

- ◇岩手県知事表彰
落合初次郎
- ◇民生委員・児童委員
菊地 昭巳
- ◇社会奉仕功労者
坂本トシエ 廣崎マサノ 間峠 ツギ
- ◇在宅介護者
橋本 泰男
- ◇社会福祉協議会役員
- ◇社会福祉事業功労者
- ◇岩手県社会福祉大会会長表彰

〔社会福祉団体役員〕
佐々木節子

- 〔民生委員・児童委員〕
宇部 タマ 叶城 榮子 中居 繁隆
廣崎このえ 山崎 弘子
- ◇ボランティア活動功労者・団体
精神保健ボランティア風ぐるま
- ◇共同募金運動功労者・団体
関添 文雄 工藤 政男 諏訪 保夫
澤山 幸壽 大下 正 二又 武志
- ◇岩手県社会福祉大会会長表彰
道合ナンコ 大矢ハチエ
欠畑マツエ 崎山八千代 川向 幸子
下坪 君子
- ◇永年勤続民生委員・児童委員
稲村 良子 内久保証一
小野寺久子 三河えり子 他1名

第43回

岩手県老人クラブ大会

10月13日に北上市で開催された「第43回岩手県老人クラブ大会」において、多年にわたり高齢者福祉の増進に貢献された次の方々を表彰しました。(敬称略)

- ◇老人クラブ育成成功功労者(一般表彰)
十門地 勝
- ◇老人クラブ育成指導功労者(会員表彰)
女澤 宏 廣崎 春實
- ◇優良単位老人クラブ
元木沢喜楽会 小久慈老人クラブ寿会

平成23年度

久慈市社会福祉大会

平成23年度久慈市社会福祉大会は、11月18日、久慈市総合福祉センターで行われ、福祉関係者など300人の参加をいただきました。大震災を契機に、人と人とのつながりの大切さや、お互いに支えあい・助けあうことの必要性が改めて見直されておられ、住民、行政、関係機関・団体が協働して「地域、みんなで支えあうまちづくり」の実現に向けて積極的に取り組むことを確認しました。
また、大阪大学大学院人間科学研究科教授の渥美公秀氏を講師に「東日本大震災と災害ボランティア：救援から復興へ」と題して記念講演が行われました。

久慈市長表彰 (敬称略)

- ◇民生委員・児童委員
大石サキ子
- ◇広く社会に顕彰する者
山形地区更生保護女性の会
夏井川堤の景観を創る会
角柄老人クラブ
瀧 福市郎 吉田虎之助 内久保証一

久慈市社会福祉協議会長表彰 (敬称略)

- ◇社会福祉事業功労者
〔社会福祉協議会役員〕
木地谷シキ
〔民生委員・児童委員〕
稲村 良子 小野寺久子
三河えり子 他1名
〔民間社会福祉施設役員〕
藤原 利征 松家 洋子
谷地 忠人 田代 順
内久保絹子 高橋トミ子
谷地ユリ子 馬場 民
- ◇ボランティア活動功労者・団体
山形木霊の会
リトルバード

◇共同募金運動功労者

- 久慈地区更生保護女性の会
久慈港運株式会社
社団法人久慈法人会
高畑 辰巳 外道 操
砂子 秀男 中野 禎悦
水上 茂 宇部 繁
田中 正七 村塚 繁好
- ◇褒賞
滝澤ヨシノ 大久保眞利子
横澤田せつ 平谷ユウ子
下川原瑞穂 小袖いさ子
葛巻 タキ



久慈市長表彰の大石サキ子様(左)



オープニングセレモニーで福祉作文コンクール優秀作品を発表している宇部中学校3年 上山葉月さん



会場は福祉関係者などで埋め尽くされました



記念講演の講師
大阪大学大学院人間科学研究科教授 渥美公秀氏

福祉作文コンクール入選作

平成23年度福祉作文コンクールは、市内小中学校から40編の応募をいただき、審査委員会(大芦賢一委員長)において、次のとおり入選作が決定されました。(敬称略)

小学校低学年の部

- ◇優秀作 宇部小学校 3年 澤 里 彬 水
- ◇準優秀作 長内小学校 3年 小 向 莉 流
- ◇佳作 小国小学校 3年 菊 池 颯 太
- ◇佳作 小国小学校 3年 女 供 明日香
- ◇審査員特別賞 長内小学校 1年 櫻 庭 愛 梨

中学校の部

- ◇優秀作 宇部中学校 3年 上 山 葉 月
- ◇準優秀作 山根中学校 1年 清 水 川 恵 大
- ◇佳作 大川目中学校 1年 松 下 美 友 紀
- ◇佳作 大川目中学校 2年 山 口 弥 千 雄

小学校高学年の部

- ◇優秀作 長内小学校 5年 桜 庭 明日香
- ◇準優秀作 宇部小学校 5年 佐々木 麻 美
- ◇佳作 宇部小学校 4年 嶋 守 未有奈
- ◇佳作 宇部小学校 6年 一本松 凌 哉
- ◇佳作 小国小学校 6年 二 橋 陽一郎

高等学校の部

- ◇優秀作 久慈東高等学校 2年 高 田 香 名 子
- ◇佳作 久慈東高等学校 2年 佐々木 千 綴

福祉作文コンクール 入選者紹介

小学校低学年の部 優秀作

ひいおばあちゃんの
こしもみ



宇部小学校三年
澤里 彬水

わたしのひいおばあちゃんは八十才です。手おし車をおして歩いてます。いつも歩きづらそうにしています。出かけることも少なくなっていました。そんな時、わたしは、ひいおばあちゃんにたのまれて、こしもみをすることにしました。わたしは、大すぎないおばあちゃんのためならいくらでもやってあげたいと思いました。こしもみを始めたころ、わたしはちようどいい強さがわからず、遠りよしながら弱くもんでいま

たが、
「弱い、まだまだ。」
とひいおばあちゃんに何度も言われまして。わたしは、全身の力を使って強くやるように心がけました。そして、四日目にやっと、「ちようどいい。ありがとう。」

と言われました。ひいおばあちゃんのかたかったこしが少しやわらかくなって、わたしはうれしくなりました。こしもみは、体力をすこく使う大へんな仕事だけどひいおばあちゃんが少しでも元気になつてくれることを願いながら、がんばって続けています。

こしもみのほかに、ひいおばあちゃんとの楽しい時間があります。それは、こしもみの後のおさん歩です。おさん歩をしながら、ひいおばあちゃんからいろいろなお話を教わったり、わたしが学校のことを教えたりします。ひいおばあちゃんは前にわたしが教えた「シャ

中学校の部 優秀作

小さな声かけ一つの力



宇部中学校三年
上山 葉月

「それ、持ちましようか。」

この言葉は一人の三年生の男子の先輩が、朝登校してくる途中、ごみをたくさん持ったおばあさんを見てその時にかけた一言でした。今から二年前の冬の事です。私が入学する前の宇部中学校は、学校のベランダでたばこを吸ったり、授業も落ち着いてできないほど、大きな問題を抱えていました。学校の外でも、よいわさはあまり聞けません。親も、入学する私たちをとて心配していました。そんな宇部中学校を、地域の人たちはどう思っていたのでしょうか。きっと、地域にひとつしかない学校の、悲しい姿に心を傷めていたはずで

す。しかし私が入学した頃から、学校が大きく変わり始めました。生徒会が中心となって、生活や学習を自分達の手で見直そうという思いが強くなっていったのです。学

小学校高学年の部 優秀作

障がい者が幸せに
暮らせるために



長内小学校五年
桜庭 明日香

私は、おじいちゃんとおばあちゃんが住んでいる家のとなりに住んでいます。おじいちゃんは、右手と右足があまり動かないので、家では杖を使い、外に出かける時は、車いすを使っています。

「ボン玉」の歌をとても気に入ってくれたようで、おさん歩のたびに、いっしょに歌うようになりました。ひいおばあちゃんの声はやさしく、歌が上手です。その声を聞くと、とても心地よくなります。おさん歩をしていると、よく弟達がむかえに来ます。おさん歩が一気ににぎやかになり、弟達のえ顔を見て、ひいおばあちゃんはとてもうれしそうです。ひいおばあちゃん、これからこしもみとおさん歩、楽しもうね。

おじいちゃんは、私が小さい頃、いつも遊んでくれ、かわいがってくれました。小学校五年生になった今でもたくさんお話ししてくれたり、遊んでくれたりかわいがってくれます。おじいちゃんは優しいし、一緒にいて楽しくなります。私は、そんなおじいちゃんが大好きです。

おじいちゃんは、いつも笑顔ですが、その裏では、大変な努力をしています。火曜日と金曜日になると、おじいちゃんは、リハビリ施設に通い、右手と右足のリハビリをがんばっているのです。リハビリという辛い思いをして大変な努力をしていると思っていました。でも、ある日、リハビリ施設と家での日記帳に、「いつも場を盛り上げてくれます。」

「毎回楽しいお話を聞いています。」

「リハビリに熱心に取り組んでいます。」

と書かれているのを目にしました。この内容を見て、リハビリを楽しくみながらも熱心に行うおじいちゃんの姿が浮かんできました。

障がいがある人は、障がいがない私たちよりも人一倍、いや人十倍がんばっていると思います。あや宇部駅清掃などボランティア活動にも力を注ぎました。ここ二年で、宇部中学校はとも変わりました。学校の中が明るく、学年をこえて仲がよだけでなく、地域との関係もとても充実してきたと思います。

私達生徒会執行部は、二月アンバーホールで行われた教育振興大会の発表の場で、これまでの活動について発表する機会をいただきました。ステージで私は、地域のおばあさん役を演じて、学校と地域のつながりをアピールしました。セリフは、宇部中生にあったかい思いが伝わるように、方言をまじえて「今年の宇部中はいいごとしだね。みんな喜んでるよ。ありがとうね。」と語りました。私は演じながら、地域の人たちの思いを裏切らないように、これからも頑張ろうと思いました。そして、地域との交流にも、もっと目を向けなくちゃいけないと思いました。

今宇部中学校では、地域の方々を招いて焼き芋交流大会をしようという新しい企画に向けて取り組んでいます。自分達の活動に、一緒に参加してもらいたいと考えたのです。しかし、天候が不順で苗があまり育たず、私たちは、天地返しをするなど、たくさんの方

生活福祉資金のご案内

所得が少ない世帯、障がい者がいる世帯などの経済的自立と生活の安定を目指し、民生委員や社協が窓口となって無利子または低利子(年1.5%)で資金をお貸しします。

総合支援資金

失業や収入の減少により、世帯の生活の維持ができなくなった等、生活の立て直しのための貸付資金です。

生活支援費…生活再建までの間に必要な生活費用(二人以上一月20万円以内、単身一月15万円以内)
一時生活再建費…生活を再建するために一時的に必要なかつ日常生活費で賄うことが困難である費用(60万円以内)

借入ケース例

就職するまでの生活費が足りない。住宅の賃貸契約の費用が足りない。など

福祉資金 緊急小口資金

緊急的かつ一時的に世帯の生計維持が困難となる場合の貸付資金です。(10万円以内)

借入ケース例

医療費または介護費など、臨時の生活費が足りない。火災等の被災によって生活費が必要。など

不動産担保型 生活資金

今お住まいの居住用不動産を担保に生活資金をお貸しします。
※高齢者世帯が対象です

■「連帯保証人」が必要です。ただし、連帯保証人を立てられない場合でもご利用できますが、利子が加算されます。(緊急小口資金・教育支援資金は、連帯保証人は不要です)

貸付限度額、返済方法は資金の種類によって異なりますので、詳しくは社協にお問合せください。

久慈市社協 本所 53-3380・53-3377/山形事務所 72-2800



福祉資金 福祉費

福祉機器の購入や、商売・結婚・出産・葬儀・引越・住宅改修等の経費、また日常生活上一時的に必要な経費等をお貸しするものです。
※貸付限度額については、お問い合わせください。

借入ケース例

商売を始めたい。技能資格をとりたい。結婚・出産・葬儀の費用が足りない。引越の費用が足りない。住宅の増築、改修、補修等に必要な経費。医療費が足りない。など



教育支援資金

高校、大学、短大、専門学校への就学に際し、入学金・制服等の就学経費と、授業料・通学定期料等の修学経費の貸付資金です。

教育支援費…高等学校、大学等の授業料や修学に必要な経費(高等学校…月額3万5千円以内、大学…月額6万5千円以内)
就学支度費…高等学校、大学等への入学に際し必要な経費(貸付限度額 50万円以内)



をしました。私達は夏休みの宇部川清掃で手伝っていたいただいた地域の方々に、焼き芋大会のお誘いを受けました。みなさんとても喜んでくださり、交流会がとても楽しみになってきました。

私は以前では考えられなかった、このような企画のできる学校、そしてそれを支えて下さる地域の関係ができてきているのだなあと感じていきます。「それ、持ちましようか。」という一言が気軽にかけられる、そういう温かい関係を私は深く感じていきたいです。

東日本大震災で感じた優しさ



久慈東高等学校二年 高田香名子

三月十一日に起きた東日本大震災。たった一日の出来事で当たり前の風景が消え去りました。ライフラインはすべて止まり、どこへも行けなくなってしまったあの数日。私は心の中で「これからこの状態が長く続くんだろう」と思っていました。しかし震災か

ら三日後に水道が復旧し、四日目には電気も通るようになりました。震災が起きてから七日目、海沿いの国道が復旧し初めて見た光景。たくさんあった建物はすべて流され、屋根や二階部分が道路脇にあり、コンクリートや木材、車が散らばったりひっくり返っている。本でしか見たことのない光景でした。初めてのことで、いつかおれが撤去されるのか、いつかの村は立ち直れるのか、私は呆然としたことを覚えています。さらに問題は、被災者のこれからでした。住む場所、生活設計、いろいろな問題が増えていきました。しかしそんな時に助けてくれるのが「福祉」なんだと実感しました。

例えば避難所への食糧や衣料の配給、入浴の手配、医療の整備などいち早く私の住んでいるところは、用意していただきました。さらに津波で亡くなった方の捜索、がれきの撤去作業もすぐに取りかかっていただきました。助ける側は助けられる側と同様に、ショックを受けていますし、どう考えてもきつくて精神的ダメージを受けているにもかかわらず一生懸命援助している姿に感動を覚えました。村のあちこちで、たく

さんの人が救助活動をしている姿を見るたび涙が出てきそうになりました。

私の知り合いの人も、消防でたくさんのお助け活動を行ったそうです。亡くなった人の捜索、がれきの撤去、避難所の食糧配給の手伝い等々。それらのすべてが身体的にも精神的にも辛く泣きたくなくなることが多々あったそうです。そんな話を聞いていたうちに私にもできることがあるのではないかと考えるようになりましたが、すぐに行動することはできませんでしたが、メディアでは毎日のようにボランティアをしている方々の報道を見ていました。その報道の中には同じ高校生もたくさん参加していました。泥まみれになりながらも一杯浸水被害にあった家の片付けをする高校生。たくさんの方が駆け寄る避難所で食糧の配給を手伝う高校生。若いからこそできることだと思いました。

そんな時、母からボランティアの依頼をされました。「津波で汚れた川掃除と、家の片付けをしてみない？」わたしは役に立てるチャンスだと考え引き受けました。ボランティアで参加した現場は思った以上に汚れがひどいもので

大変でした。

川は泥と油にまみれ、漁で使う用具がびっしり川を覆っていました。すべて手作業で、とても重たくてバテそうになりました。一回目のボランティアはすべて川掃除だけで終わりました。顔に付いた油がなかなか取れませんでした。二回目は川掃除をしてから、浸水被害にあった家の片付けをしました。すべて濡れている家具や割れたガラスのかたまり、たくさんものを運び出しました。

終わってからはいろいろな方からうれしい言葉をいただきました。自分の中でも初めてのことで、とてもうれしく感じました。今までにない大震災。その日から五ヶ月が経ちました。今では完全ではありませんが、公共機関も復旧して、だいぶ復興してきたのではないかと感じます。しかしそれは、いろいろな数え切れない人の心からの行動がもたらしたものだと思っています。周囲の人々、行政、国家。どれか一つだけが機能しても今の状態にはならなかったと思います。まだまだたくさん問題がありますので、自分もできることを行っていきたいと思っています。今回で感じた人の優しさを受け継いでいきたいと思っています。

ふくしサロン「しあわせSUN」行事予定

- 絵本読み聞かせ「よんで!よんで!!」
12/9(金)・1/6(金)・2/2(木)
- スマイル子育て相談会
12/16(金)・1/20(金)・2/17(金)
- 手作りおもちゃ講習会「SUNSUNひろば」
12/22(木)・1/12(木)・2/24(金)
- まちの保健室(健康相談)
12/8(木)・1/8(日)・2/8(水)
- ※行事予定は変更になる場合がありますので、ご確認をお願いします。
- ◇時間 いずれも10時30分～
(まちの保健室のみ10時～)
- ◇問合せ ふくしサロン「しあわせSUN」
61-3933(二十八日町1-13)

案内図



歳末たすけあいチャリティ演芸会

- ◇日時 12月4日(日)
12時30分～15時30分(開場 正午)
- ◇会場 久慈市山村文化交流センター
「あらぼーる」(山形町)
- ◇問合せ 社協山形事務所 72-2800
- 入場料は無料ですが、お花(義援金)の受付を置き、ご来場の皆様にご協力をお願いしています。寄せられたお花は、歳末たすけあい募金に充てられます。

歳末たすけあい芸能大会

- ◇日時 12月11日(日) 12時30分～
- ◇会場 久慈市文化会館「アンバーホール」
大ホール(川崎町)
- ◇入場料 一般 500円、小中高 300円
前売入場券は、総合福祉センター等で販売中。
- ◇問合せ 社協本所 53-3380
- 益金は、歳末たすけあい募金に充てられます。

白樺大学河北地区学級 しめなわ講習会

- ◇日時 12月16日(金) 10時～15時
- ◇会場 天神堂公民館
- ◇内容 しめなわ作りを講習します
- ◇参加対象 市内に住むおおおね60歳以上の方
- ◇参加費 無料(昼食は各自準備願います)
- ◇定員 30名(定員になり次第締切りとします)
- ◇申込み 12月9日(金)までに社協本所(53-3380)または山形事務所(72-2800)へ

「年末年始の休館日」のお知らせ

福祉の村各施設・山形老人福祉センター・ふくしサロン「しあわせSUN」は、次の期間、休館いたします。

12月29日(木)～1月3日(火)

問い合わせ

- 久慈市総合福祉センター 53-3377
- 山形老人福祉センター 72-2800
- ふくしサロン「しあわせSUN」 61-3933
- 福祉の村「屋内温水プール」 53-9292

認知症の人と家族のつどい・くじ

- ◇日時 1月13日(金)
13時30分～15時30分
- ◇場所 久慈市総合福祉センター(福祉の村)
- ◇参加費 無料
- ◇問合せ 川向幸子 72-2159、
地域包括支援センター 61-1557
- ひとりで悩んでいませんか。認知症の人や家族も不安でいっぱいです。病気のことや介護について語り合い、人とのつながりを大切に、一歩一歩進んでいきましょう。 世話人 川向幸子

福祉の村「屋内温水プール無料開放」

1月3日(火) 10:00～16:00

温水プールを無料開放しますので、「初泳ぎ」をお楽しみください。

つきたてのおもちの入ったおしるこもあるよ!

生活復興支援のお知らせ

生活復興支援資金の貸付

■貸付の対象

東日本大震災により被災した所得が少ない世帯を対象に、当面の生活に必要な経費等の貸し付けです。

■貸付の種類

1 一時生活支援費

生活の復興の際に必要な当面の生活費

月20万円以内
(単身世帯の場合は15万円以内)×6ヶ月以内

2 生活再建費

住居の移転費、家具什器、自動車の購入等に必要の費用

80万円以内

3 住宅補修費

住宅補修等に必要の費用

250万円以内

■貸付の条件

- 連帯保証人(原則1名)が必要です。但し、連帯保証人を立てられない場合でもご利用できますが、利子が加算されます。
 - 無利子となりますが、連帯保証人が立てられない場合は年1.5%の貸付利子が発生します。
 - 据置期間は最終貸付の日から2年以内とし、償還期間は20年以内です。(金額に応じて期間を設定できます。)
- そのほかの生活福祉資金の貸し付けや、たすけあい資金の貸し付けも実施しております。詳しくは社協にご相談ください。

お問合せ先

久慈市社協
本所 53-3380
山形事務所 72-2800

**お気軽にお電話ください!!
被災された皆さんに
ボランティアが
お手伝いします!**



- ★依頼方法 復興支援ボランティアセンターにお電話ください。
- ★受付時間 月曜日～金曜日 9:00～16:00

- ★こんなお手伝いをします! 引っ越し、掃除、雪かき、買い物、話し相手などなど。
- ★ボランティア派遣依頼をする方へ すべてに対応できない場合もあることと、以下の点をご了承ください。
 - ◎原則、日曜日を活動日としてボランティア派遣を行います。ご相談に応じます。
 - ◎専門的技術や危険を伴う作業などご要望にお応えできない場合もあります。
 - ◎住居での作業や日常生活の支援を対象とします。
 - ◎ボランティアは無料で飲食物の用意も不要です。

〈お申し込み・お問い合わせ先〉
久慈市復興支援ボランティアセンター
事務局 久慈市社会福祉協議会

久慈市旭町7-127-3(久慈市総合福祉センター内) 53-3380・53-3377

歳末たすけあい運動にご協力をお願いいたします!



今年も12月1日から12月31日まで『みんなでささえあう、あったかい地域づくり』をスローガンに「歳末たすけあい運動」が全国一斉に行われます。

戸別募金につきまして、奉仕者（行政連絡区長さん）を通じお願いいたしますので、1世帯300円を目安としてご協力をお願いします。みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

また、例年、職場・学校・グループ等からも広くご協力をいただいております。今年もよろしくお願いたします。

みなさまから寄せられた募金は次の方々に激励金としてお届けいたします!

- ◇ 寝たきりまたは日常的に介護を必要とするお年寄り（65歳以上）
- ◇ 一人暮らしのお年寄り（74歳以上）
- ◇ 知的障がい(児)者の方
- ◇ 身体障がい(児)者1級・2級の方
- ◇ 精神障がい者1級・2級の方

昨年度は4,415,859円の募金が寄せられ863名の方々に激励することが出来ました。今年もご協力をお願いいたします。対象者の調査は地域の民生委員さんをお願いしておりますが、いずれも所得が少ない世帯が対象となります。（※生活保護世帯は対象外となります。）

募金は久慈市共同募金委員会（久慈市総合福祉センターまたは山形老人福祉センター内）で受け付けています。



- 久慈市総合福祉センター
TEL 53-3377
- 山形老人福祉センター
TEL 72-2800

福祉基金寄付者

(平成23年9月から11月まで) (敬称略)

- 久慈高等学校家庭クラブ 21,707円
- 匿名 1,000円
- 匿名 2,000円
- 匿名 10,000円
- 匿名 10,000円
- ボランティアサークルホットタウン 29,604円
- 久慈茶道会 22,000円
- 久慈地区更生保護女性の会 10,000円
- 大槻 静子 10,000円

10月8日福祉の村で行なわれたガレージセールの様子。益金は福祉基金へ寄付されました。



ありがとうございました

さくらハウス 財団法人JKAより助成

就労継続支援B型事業所さくらハウスでは、財団法人JKA様（競輪）の補助金を受けて10人乗りの送迎車両が9月29日に整備されました。これまで、2台のワゴン車での往復送迎で利用する皆様にご不便をおかけしていましたが、これからは効率の良い送迎体制を整備することができるようになります。送迎の他にも、地域作業等のいろいろな活動に積極的に利用し就労支援の充実を図っていきたいと思っています。

社会福祉法人修愛会 さくらハウス
TEL 53-6622

整備した送迎車両

